東葉高速鉄道活性化協議会

平成20年10月1日設置
平成21年6月29日連携計画策定

概　要

東葉高速鉄道沿線の住民，企業等を対象として，多様なニーズやターゲットに適応した利用促進策の展開による沿線地域のモビリティツールとしての維持・確保を図りながら，東葉高速線の自立・活性化を目指す。

○公共交通の利用促進策の実施

□ コンコースや駅周辺施設の整備，地域の情報発信
（コンコース案内板・行先表示器・配布用時刻表作成）

運行情報や乗り換え案内などによる利便性の向上を図るとともに，周辺地域のイベントや施設等の情報発信を行うことにより鉄道利用の促進を図る。また，駅周辺施設の整備によるアクセス性の向上や沿線公共施設等での地域情報の発信を含めた時刻表を配布するなど，駅勢圏の拡大を伴う鉄道利用の促進を図る。

□ イベントによるマイレール意識・イメージの向上
（車両基地見学会・東葉サマーコンサート・ゆめ半島ちば国体開催に伴う記念イベントなど）

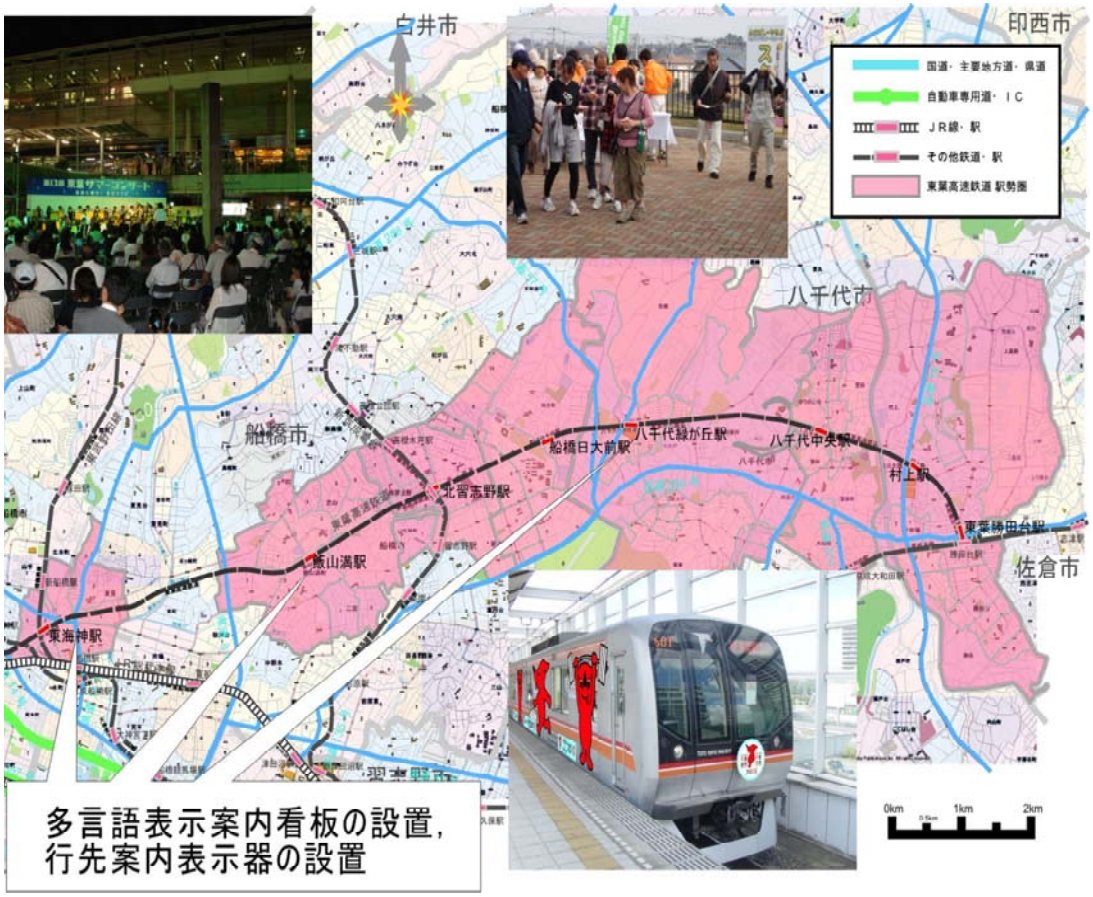
沿線地域の観光スポット，自然環境を活用したPRイベントや，地域の物産等の紹介，地元の学校や各種団体との共催イベントなどを行い，マイレール意識の向上，鉄道PR，イメージの向上につなげ，鉄道利用の促進を図る。

□ 企画乗車券・割引乗車券による利用促進
（東葉東京メトロパス販売促進・企画乗車券の発売）

相互乗入を行っている東京地下鉄との共同による東葉東京メトロパスのPRキャンペーンや，新たな企画乗車券の発売など，お得感のある乗車券による新規顧客を獲得することにより鉄道利用の促進につなげる。

□ モビリティマネジメント推進事業

沿線住民や転入者に対し，環境や健康などに配慮した交通行動のあり方について広く呼びかけ用パンフレットを作成配布することにより，過度に自動車に頼る暮らしから，公共交通手段を利用する暮らしへの転換を促し，延いては鉄道利用の促進を図る。



多言語表示案内看板の設置，
行先案内表示器の設置